TACHIBANA INTERNATIONAL
Address BLK11 LEEDON HEIGHTS #05-32
D'LEEDON SINGAPORE 267955

2020 年 8 月 31 日

株式会社立花商店　生田　渉

（新）週刊カカオニュース 19 号

毎度お世話になります。カカオトレーダーの生田と申します。
安倍首相の辞任が発表され、あわただしい週末でしたが、カカオ関連でいうと相場が大きく続伸、またドルの弱さが浮き彫りになり、特に英国ポンド／米国ドルの変換レート（GBP/USD）がかなり高騰し、1.335 を超えました。実需が大きく改善したわけではりませんが、カカオの先物価は、上記の状況から米ドルベースではかなり高くなっています。今後の価格動向の分析から今週は初めて見たいと思います。

1. ファンド勢のロンドンカカオ先物の売り越しが減少で 8 週ぶりの低水準に(8/29)

ロンドンカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋の純売りポジションが減少している。純売りポジション（＝Net Short position ）は今週には、前週から 4,965 ロット減少して 2,575 ロットになったことが ICE EUROPE の発表しているデータから判明した。

- 純売りポジションは、過去 8 週間で一番少ない水準になった。
- 買いポジションの総量は 8 月 25 日までで前週より 1,916 ロット増加して、14,882 ロットとなった。買いポジションの総数量では、過去 7 週で最も高い水準になぅている
- 売りポジションの総量は 8 月 25 日までで前週より 3,040 ロット減少して、17,457 ロットとなった。売りポジションの総量は、過去 8 週間で最小の数値となっている。

Commitments of Traders **Futures only** **Cocoa**

ICE Futures Europe

25/08/2020

		Producer/Merchant/ Processor/User		Swap Dealers			Managed Money			Other Reportables			Nonreportable Positions	
MktDate	OI	Long	Short	Long	Short	Spreading	Long	Short	Spreading	Long	Short	Spreading	Long	Short
25/08/2020	241912	165145	181212	19978	12229	9982	14866	17377	10712	10525	15	7429	3275	2956
Percent of Open Interest Represented by each Category of Trader														
25/08/2020	100%	68.3%	74.9%	8.3%	5.1%	4.1%	6.1%	7.2%	4.4%	4.4%	0.0%	3.1%	1.4%	1.2%
Number of Traders in Each Category														
25/08/2020	139	49	47	13	7	8	19	16	12	20	2	17		

2. ニューヨークの買い越しロットは過去５か月で最大の数値に(8/29)

ニューヨークカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋の買い越しポジションが増加している。純買いポジション（＝Net long position ）が今週 1,861 ロット増えて、22,928 ロットに増加した。

- 純買いポジションは、過去５か月で一番強気水準（＝買い越しが多い）
- 買いポジションの総量は８月 25 日までで前週より 3,222 ロット増加して、49,998 ロットとなった。買いポジションの総数量では、過去５か月で一番高い水準になってきている。
- 売りポジションの総量は８月 25 日までで前週より 1,361 ロット増加して、27,070 ロットとなった。売りポジションの総量は、過去３週間で一番高いレベル。

Disaggregated Commitments of Traders-All Futures Combined Positions as of August 25, 2020

Reportable Positions											
Producer/Merchant Processor/User		Swap Dealers			Managed Money			Other Reportables			
Long	Short	Long	Short	Spreading	Long	Short	Spreading	Long	Short	Spreading
COCOA - ICE FUTURES U.S. (CONTRACTS OF 10 METRIC TONS)											
CFTC Code #073732						Open Interest is 203,771					
Positions											
73,019	121,076	20,686	6,113	7,705	50,317	26,874	15,942	16,514	12,315	6,661
Changes from: August 18, 2020											
-448	2,071	-264	228	1,882	3,329	1,337	1,071	-904	-580	-1,664
Percent of Open Interest Represented by Each Category of Trader											
35.8	59.4	10.2	3.0	3.8	24.7	13.2	7.8	8.1	6.0	3.3
Number of Traders in Each Category						Total Traders: 214					
38	36	17	5	8	65	29	34	21	23	20

要点まとめ）上記のロンドンとニューヨークのポジションレポートから、分かるのは、両市場の共にヘッジファンドの動き（赤の囲み）は、先物市場での売りポジションが減り、買いポジションが増えているということ。またニューヨークが先んじて買いが増えており、ロンドンはそれを後追いするかのように少し遅れて買いが増えてきていることが感じれます。一方、実需筋（青の囲み）は、売りの方がやや優勢でトレーダーが豆の仕入れ価格を決めて、販売の値決めをしていないもの、もしくは磨砕業者が仕入れ価格を決めて、販売価格を決めれていないもの等のロットがまだまだあるのかなという感覚を持ちますが、相場が大きく動いているような雰囲気はせず、やはり投機筋の動きが値動きのトレンドを作っている感じがします。

3. ココア価格チャートによるトレンド分析（ロンドン・NY　12 月限月）

下のチャートは上がロンドン、下がニューヨークのカカオ先物で双方とも 12 月限月。

先の１、2 に示したポジションレポートは８月 25 日であり、その後、両市場ともに大きく買われ、特に 28 日の金曜日には大きく上げました。この上昇には米ドルの下げがあり、通貨からコモデティへの資金のシフトが重なり決してカカオ特有の理由だけで大きな上昇をしたわけではないと思います。チャート的にはかなり買われ過ぎの状態になっており、両市場とも一旦下げ、もしくは平行線になるという感じがしますが、米ドルが全通貨に対いて弱く、株式市場の上昇理由にも起因しているので、突発的な上昇のムードがもう少し続くかもしれません。実需的には、コロナの影響が見通せてきた事での需要の回復への期待と、コートジボアールの大統領選挙が混錬するのではないかという懸念材料があり、少し上げ基調ムードとも言えますが、急激な上昇をもたらすとは思えない。個人的には、今週は一度落ち着いてやや下落、もしくは平行線で蛇行という感じに戻ると予測します。この価格でも NY 市場を値決めに使っている南米のカカオ輸出者は販売の意欲が増していますし、さらに続伸するようであれば産地筋にとっては 20-21 産の新物の新しい契約の絶好の値決めのタイミングに来た感じがします。一方、ロンドン市場を使っているアフリカ勢は、ドルベースで比較するとロンドン市場の価格は 1760×1.335

（gbp/USD）＝2349USD であり、NY 市場の 2622USD とは大きな乖離があります。これは即ち、LID 制度後のアフリカ豆のプレミアムが必然的に高くなることを市場が織り込んでの“差”にもなっています。

この両市場の“差”を織り込んだ、各産地の現状のプレミアムと価格を参考までに記します。

CIF　ASIA　Indication 価格として　*GBP／USD＝1.335 にて計算

ガーナ・メイン：ロンドン市場相場 1760GBP+プレミアム 520GBP＝USD3,043/MT

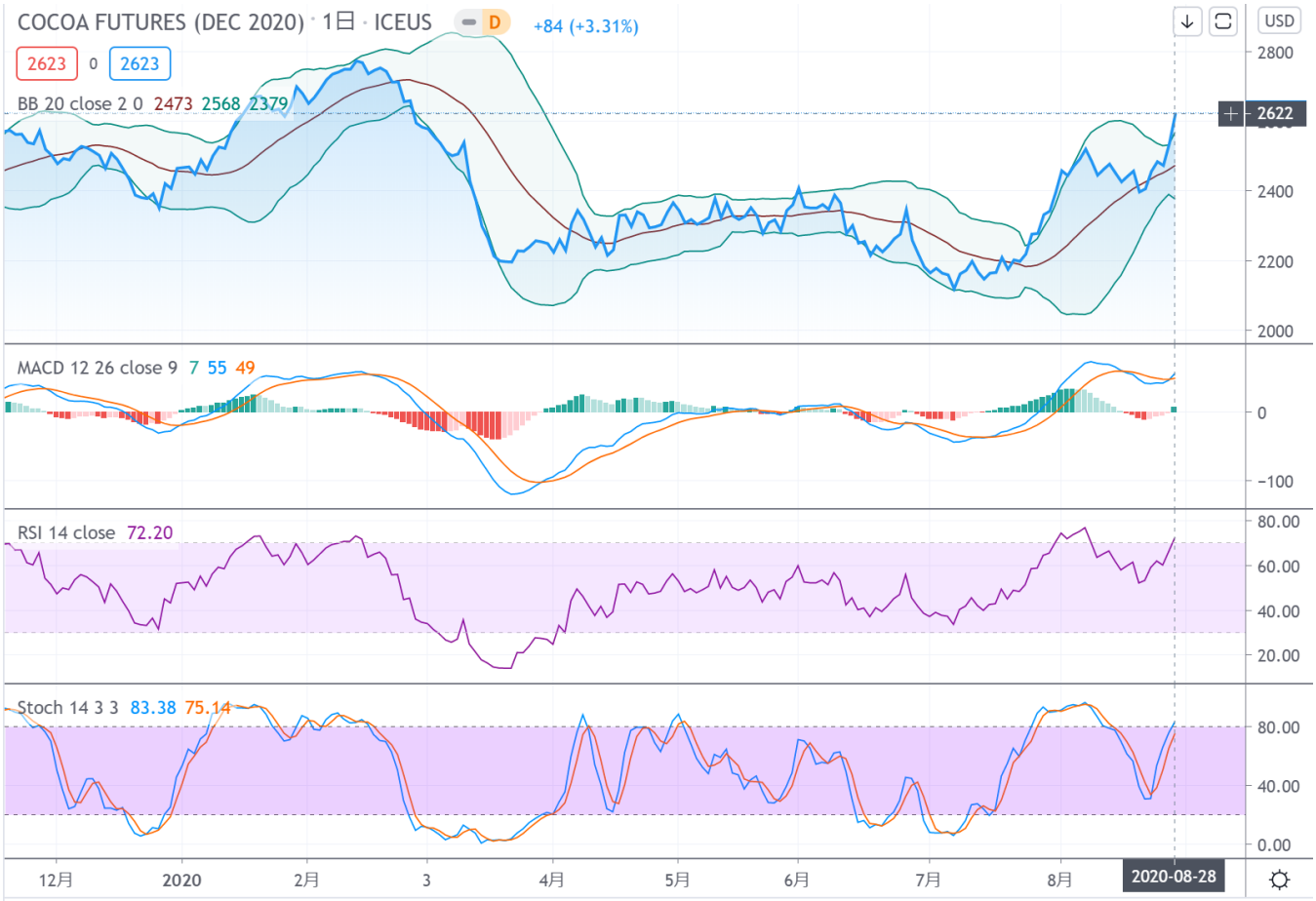
コートジ・メイン：ロンドン市場相場 1760GBP+プレミアム 350GBP＝USD2,816/MT

ナイジェリア・メイン：ロンドン市場相場 1760GBP+プレミアム 220GBP＝USD2,643/MT

タンザニア：ロンドン市場相場 1760GBP+プレミアム 250GBP＝USD2,683/MT

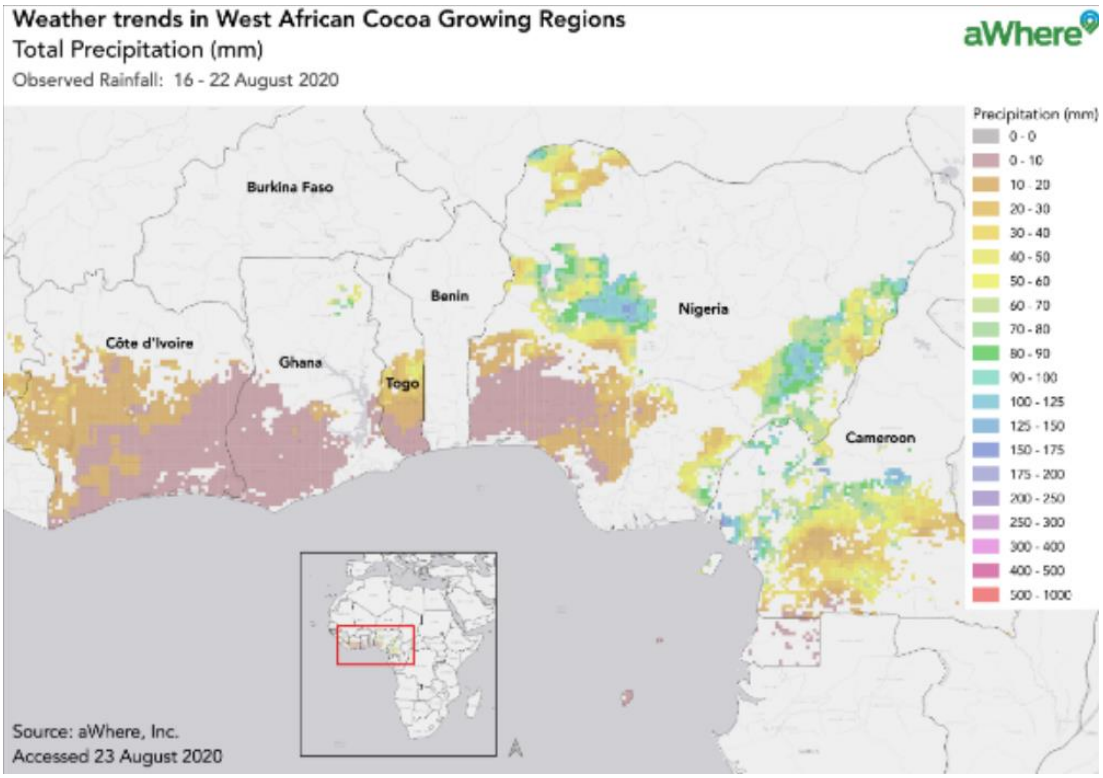
エクアドル ASE/CCN51：ニューヨーク市場 2622USD+プレミアム 70USD＝2692/MT

ペルー　Grade２　　：ニューヨーク市場 2622USD+プレミアム 70USD＝2692/MT



4. アフリカ UPDATE：コートジボワールでは待望の降雨、一方でガーナでは、長引く乾燥(8/25)

先週、コートジボワール南部と中央部の農家は歓迎の雨を浴びましたが、西部地域とガーナと隣接する地域は引き続きの乾燥により、干ばつがメインクロップに害を与えているとの懸念が高まった。ガーナ南西部の村、アプジャに住む農家のアベナクムワー氏は、「現在、私たちのエリアのカカオ農園では、10 週間以上雨が降らない状態が続いています」と語りました。 「私たちの生計を立てるカカオの木がこのままでは衰退してしまいます。私たちはどうしようも出来ません」世界最大のカカオ生産地であるコートジボワールでは、週末に数週間の最初のにわか雨が降った後、農家は今より多くの雨を期待しています。



＊8 月 23 日までの週の西アフリカの降水量。マップのクレジット：aWhere。

今週の各生産国の情報は下記の通りです。

コートジボアールは歓迎の雨

国の中央西部の雨はさやの発達を助け、そのいくつかは成熟し始めました。これは、メインシーズンの開始に先立って早期に収穫して現金を調達する予定の農家にとっては好都合な状況。

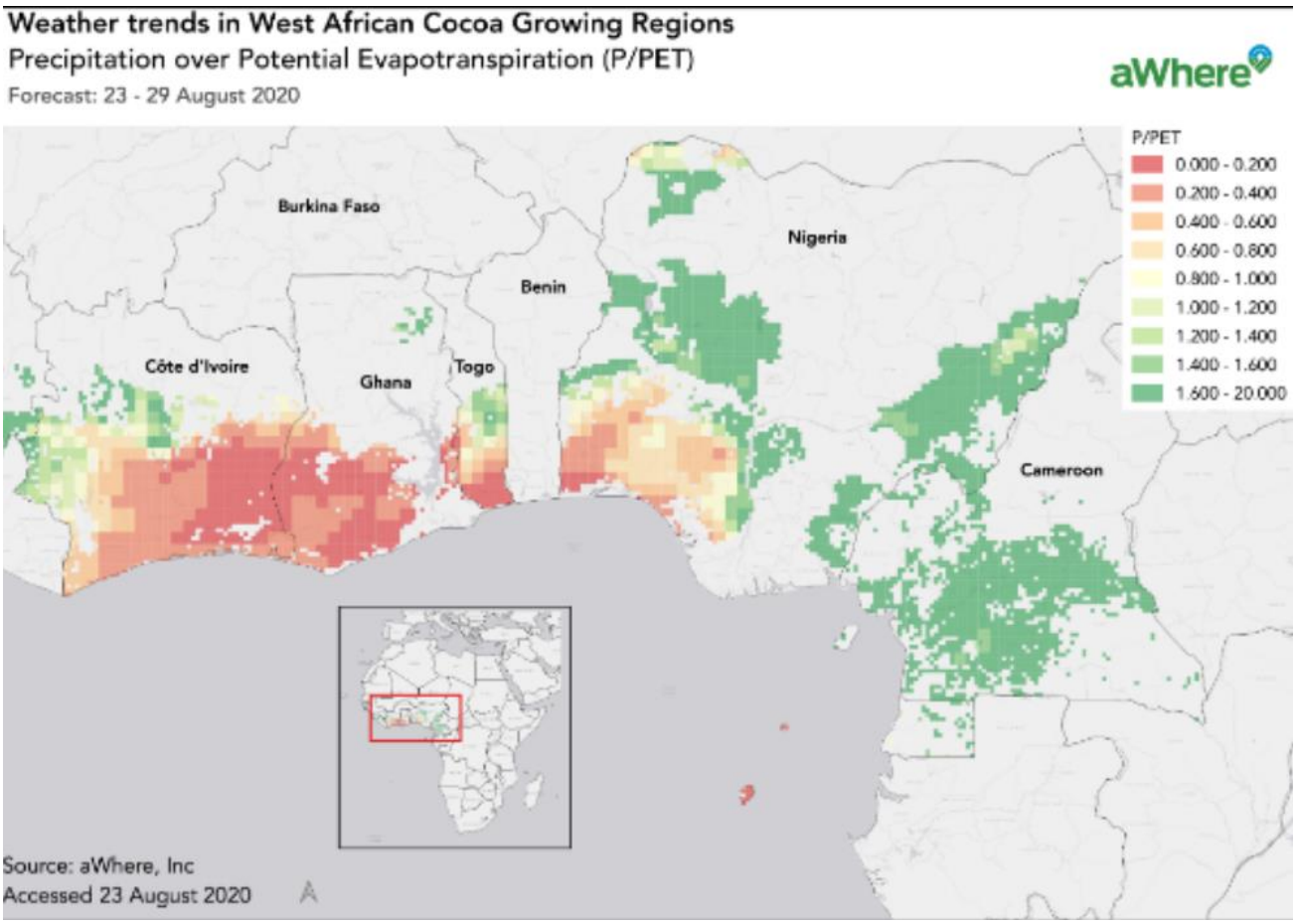
カメルーンは大洪水

主要な沿岸地域では、週末の終わりに激しい雨が降り、洪水が農場や家を破壊したと、ドゥアラの北にあるロウムの生産者であるラハマツキラトゥメ氏は語った。

「私の新しい農場の若いカカオの木のいくつかは洪水によって完全に根絶されました」と彼女は言い、農民の活動は 2 日間停止され、雨は豆の品質を損なう可能性があると付け加えました。

ナイジェリアの乾燥

南部のカカオ栽培地域では乾燥した天候が続いており、鞘の発達が鈍化しています。南東部のベンデ LGA の農家である Loveday Kalu 氏は、収穫も影響を受けており、生産量と収穫量は低いと述べています。大規模な収穫は 9 月末か 10 月初旬に行われるであろうとも発言した。オグン州南西部の農民、シリファトゥ・オルガラティ氏は、今月も雨が戻ってこないと木が枯れてしまうのではないかと心配している。雨がないとカカオの花と小さなつぼみが乾き、葉は黄色くなり、しおれ始めてしまいます。



＊P / PET は、降水量を地域の蒸発需要の比率として示しています。 1 未満の比率は、期間中の水分不足を示し、数値が低いほど、作物へのストレスが大きくなります。地図の引用≪aWhere≫

5. Nutella がチョコレートを増量したスプレッドの新しいリッチバージョンをリリース(8/26)

多くの消費者のお気に入りのチョコレートスプレッドである Nutella（ヌテラ）は、新しい商品をリリースすることを明らかにしました。オリジナルの 2 倍の量のココアが含まれている『Nutella + Cocoa』は、チョコレートファンにすぐに愛用されるような商品です。9 月 2 日からテスコの店舗で販売がスタートし、順次、他のの小売業者でも販売を開始する予定。

価格は古典的なヌテッラスプレッドと一致し、それぞれ 350g のジャーあたり 2.89 ポンドで小売されます。

続きを読むフェレロ UK&アイルランドのヌテッラのマーケティングディレクターであるジェームズスチュワートは次のように述べています。「この Nutella+cocoa は朝食により濃く豊かな味わいのチョコレートを求めるお客様に最適です。オート麦にトッピングするときも、バナナブレッドの上に広げるときも、Nutella + Cocoa はきっと皆さまに感銘を与えるはずです。私たちのファンが Nutella ファミリーに新しく追加されたものについてどう思うか、待ちきれません。」

＊新商品の Nutella +Cocoa

6. ネスレ・マレーシア、4-6 月期決算で純利益は前年比 33%減も 20 年後半は収益改善へ(8/26)

スイス系食品大手のネスレ・マレーシアが 25 日発表した 4-6 月期（第 2 四半期）決算は、純利益が前年同期比 33%減の 1 億 0550 万リンギ（約 26 億円）となった。新型コロナウイルス流行の影響でホテル、レストラン、カフェなどへの販売が落ち込んだ。売上高は 8.7%減の 12 億 2000 万リンギ。新型コロナ流行の影響で、従業員の安全確保のための追加の出費もかさんだ。

1-6 月期（上半期）では、純利益は 26%減の 2 億 9180 万リンギ（74 億円）、売上高は 4.8%減の 26 億 5000 万リンギ。中間配当は 0.70 リンギに据え置いた。

一方、ケナンガ・リサーチはスイス系食品大手のネスレ・マレーシアについて、新型コロナウイルス対策のロックダウン（都市封鎖）措置による混乱が緩和し、今年後半は業績が改善するとの見方を示した。

同社の最悪期は過ぎたと述べ、ロックダウン解除後にホテルやレストラン、カフェの需要が通常水準に回復していることなどが業績改善を支えると指摘した。

また、長期的見通しは良好だとし、即席麺「マギー」の生産能力拡大や植物由来食品のソリューションを提供する新事業など、設備投資に2億8000万リンギ（約70億円）が投じられる見込みだと説明した。

週刊カカオニュースの配信の削除、ご依頼については,下記アドレスまでご連絡願います。

株式会社　立花商　生田　w-ikuta@tachibana-grp.co.jp